

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 溪仁会	代表者	谷内 好	法人・ 事業所 の特徴	・白石区は、高齢者夫婦、独居で生活されている方が多く、認知症の方も多く感じられる。その状況で、自宅での生活が継続することができるように、自宅の環境を整備し、日常の支援、また家族の精神負担軽減をはかっていく。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 白石の郷	管理者	鳥本 有希		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	1人	1人	1人	人	3人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認		事業所転換後だったため、自己評価できていなかったため今後明確にしていく	一人一人がサービスの振り返りができる。できてないことを明確にし、改善していく。	自己評価での改善につながる取組み、ミーティングでの意見交換をする機会を設け、良いサービスに繋げていく。
B. 事業所のしつらえ・環境		季節感にあわせた装飾や、環境整備、感染対策を毎日実施している。	感染対策をし、見学などはいつでも可能としていく。 気持ちの良い挨拶を心がける。	今後も、継続して感染対策・環境整備を心かける。季節感のある利用者さんの作品も展示していく。
C. 事業所と地域のかかわり		コロナ禍参加できなかったが、今後は、地域の行事や集会について積極的に参加できるようにする。	地域との関わりをもつためにどのようなことが必要か検討する。	認知症カフェの参加や地域の行事に積極的に関わりをもっていく。ボランティアさんの受け入れも実施していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み		予防センターの職員や、民生委員から、会議などで情報を収集する	自身のサービスでは、難しい場合も多いとおもうので、窓口を大きくする取組みを検討していく。	予防センターや包括支援センター職員と面談し、生活困難ケースなどききだしていく。適切なサービスの提供を提案する。
E. 運営推進会議を活かした取組み		会議にて、地域の様子や小規模多機能白石の郷の活動報告ができている。	ホームページを活用し、活動内容を発信し、地域の方にも広めていく。	小規模の活動をもっと知ってもらえるために、運営推進会議で改善案、取組み方の意見をいただく。
F. 事業所の防災・災害対策		利用者も参加し避難訓練ができている。災害時の備蓄購入の声掛けをしている。	年に2回、利用者さんと共に避難訓練できるようにする。	今後も継続し実施していく。グループホームと合同での避難訓練ができるようにしていく